



トイレーパーホルダの認定基準及び基準確認方法
(公開用)

トイレットペーパーホルダ専門部会委員名簿

氏名	所属
(部会長) 北原 三郎	専修大学
川又 幸子	全国地域婦人団体連絡協議会
倉澤 弘泰	財団法人日本消費者協会
薦口 嘉孝	通商産業省工業品検査所商品テスト部 安全監督課
佐藤 剛男	通商産業省産業政策局消費経済課
志摩 達夫	株式会社西友ストアー
田中 勝	北村パルプ株式会社
富田 映子	消費科学連合会
長友 隆男	芝浦工業大学
逸見 市子	主婦連合会
町田 紘一	東陶機器株式会社
花本 雅廣	商品科学研究所
松岡 寿人	財団法人日本文化用品安全試験所
宮崎 貞光	伊奈製陶株式会社
山本 和夫	株式会社伊勢丹
脇山 俊	通商産業省生活産業局 日用品課
蕨岡 達慈	通商産業省工業技術院標準部 繊維化学規格課
下河辺 孝	製品安全協会

(事務局) 製品安全協会 〒106 東京都港区六本木 3 丁目 17 番 7 号 電話(03) 582-6231~5

トイレトペーパーホルダの認定基準及び基準確認方法

1. 基準の目的

この基準は、トイレトペーパーホルダの安全性品質及び使用者が誤った使用をしないための必要事項を定め、一般消費者の生命又は身体に対する被害の発生の防止を図ることを目的とする。

2. 適用範囲

この基準は、巻取りのトイレトペーパーホルダを取り付けて使用するトイレトペーパーホルダ(以下「ペーパーホルダ」という)について適用する。

3. 安全性品質

ペーパーホルダの安全性品質は、次のとおりとする。

項 目	基 準	基準確認方法
1. 外観、構造及び寸法	<p>1. ペーパーホルダの外観、構造及び寸法は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 手等の触れる部分には、傷害を与えるようなばり、まくれ、鋭利部、鋭い角部等がないこと。</p> <p>(2) 各部の組付けは確実で、き裂、破損、使上支障のある緩み、がた、変形等の異状がないこと。</p> <p>(3) 厚さ〇未満の金属材料を使用した各部であって、使用上手等が触れる切断部分は一折り返し等の処置が施されていること。</p>	

項 目	基 準	基準確認方法
	<p>(4) 紙切り板の紙切り部は、のこぎり状（ 歯でないこと。</p> <p>(5) 使用上手等が触れる部分のねじのね じ部の先は、突出していないこと。</p> <p>(6) ペーパーホルダは、木ねじが付属され ており、板等に確実に取り付けられ る構造であること。</p> <p>(7) 心棒取付部、紙切板の紙切部、ふた 等の角部は、半径〇以上であること 。</p> <p>(8) 紙切り板を有するものにあつては、 紙切板の紙切部の有効長は〇以上である こと。</p>	

項 目	基 準	基準確認方法
2. 操作性	2. ペーパーホルダの操作性は、次のと おりとする。	

項 目	基 準	基準確認方法
3. 強度	<p>(1) トイレtp紙を容易、かつ確実に取り付けることができること。</p> <p>(2) トイレtp紙を容易に引き出すことができること。</p> <p>(3) 紙切り板を有するものにあつては、トイレットペーパーは紙切り板の紙切り部に沿つて容易に切れること。</p> <p>3. ペーパーホルダの強度は次に掲げるとおりであつて、それぞれについて力を加えたとき各部にき裂、破損、使用上支障のある緩み、がた、変形等の異状がないこと。</p> <p>(1) 背板の固定強度及び側板と紙切板との組付け強度は○以上であること。</p> <p>(2) ペーパーホルダの上方からの押し強度は、○以上であること。</p>	

項 目	基 準	基準確認方法
	<p>(3) 側板またはふたの横方向からの押し強度は○g以上であること。</p>	

4. 材料	<p>4. ペーパーホルダに用いる材料は、合成樹脂、もしくはステンレス鋼、アルミニウム合金またはこれらと同等以上の耐食性を有する金属であること。</p> <p>また、ペーパーホルダに付属する木ねじの材料は、ステンレス又はこれと同等以上の耐食性を有する金属であること。</p>	
-------	---	--

4. 表示及び取扱説明書

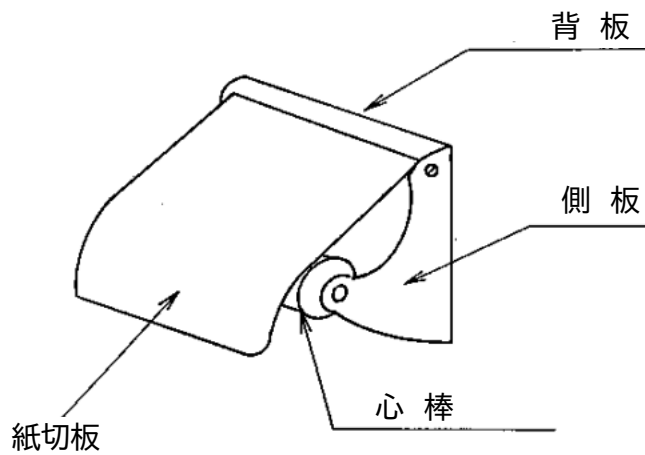
ペーパーホルダの表示及び取扱説明替は、次のとおりとする。。

項 目	基 準	基準確認方法
<p>1. 表示</p> <p>2. 取扱説明書</p>	<p>1. 製品には、容易に消えない方法で次の事項を表示すること。</p> <p>(1) 申請者（製造業者、輸入業者等）の名称またはその略号</p> <p>(2) 製造年月もしくは輸入年月またはその略号（背板の裏面でもよい）</p> <p>2. 製品には、欠に示す趣旨の取扱い上の注意事項を明示した取扱説明書を添付すること。なお一般消費者が容易に理解できるよう図で明示することが望ましい。</p> <p>(1) 取扱説明書を必ず読むこと。</p> <p>(2) 取付けの要領, 場所及び注意</p> <p>a) 同壁面等への取付け方法</p> <p>b) 同取付け場所</p> <p>立ちかがみのとき、または出入りのとき、人体等が容易に触れるおそれのある場所はできるだけ避けて取り付けること。</p> <p>c) 取付けが確実であることを点検すること。</p> <p>d) トイレットペーパーの取付け方法</p>	

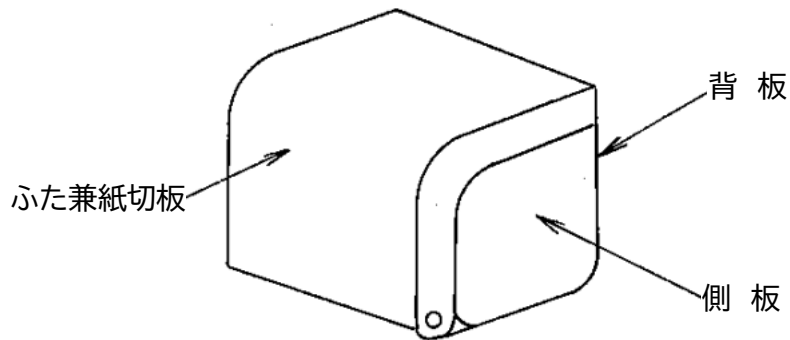
	<p>(3) 使用上の注意</p> <p>a) 手をついたり、寄りかかったりしないこと</p> <p>b) 破損、故障、変形等したままで使用しないこと。</p>	
--	--	--

ペーパーホルダの各部の名称（参考付図）

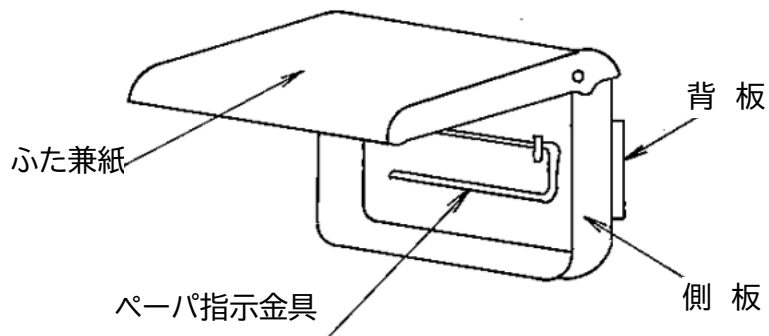
1. 普通形



2. ボックス形



3. わに口形



紙切板のない形

2. 壁にはめ込む形式

